

凸版印刷、Web サイト上で 3D バーチャル体験ができる 「MiraVerse® Core」を提供開始

Web サイト上で、空間や商品を 3DCG で忠実に再現し、自由な視点・自由な組み合わせの
バーチャル体験を実現

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、近年のバーチャル空間上でのコミュニケーション需要の高まりを受け、2022年4月より、臨場感のあるビジネス向けメタバースサービス基盤「MiraVerse®(ミラバース)」を提供しています。

このたび、「MiraVerse®」の新機能として、Web サイト上で、企業の商品や空間を 3D データで再現し、自由な視点・自由な組み合わせでのバーチャル体験ができる「MiraVerse® Core(ミラバースコア)」の提供を2022年10月から開始します。

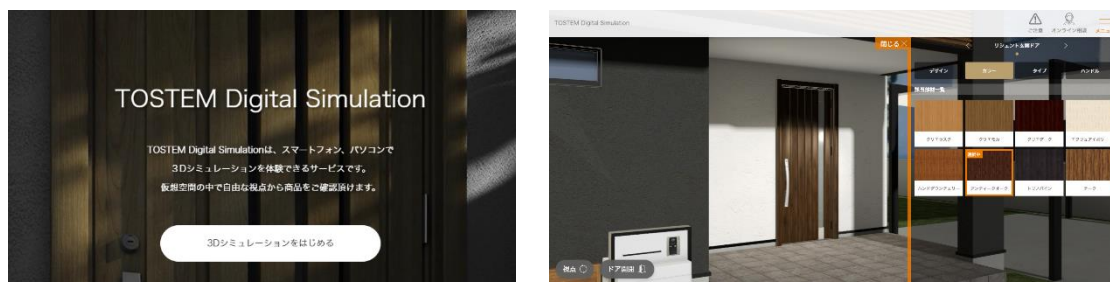
本サービスは、Web サイトで高速かつ高精細なバーチャル体験を提供することで、利用者に対して手軽に正しい情報を伝達し、購買意思決定を強力にサポートすることが可能です。また、専用の管理サイトで商品の 3D データを一元管理できるため、商品変更時の更新コスト削減やリードタイム短縮を図ることができます。



「MiraVerse® Core」を使った Web サイトでの商品シミュレーションイメージ

©TOPPAN INC.

なお本格提供に先がけて、本サービスは株式会社 LIXIL(本社:東京都江東区、取締役 代表執行役 社長:瀬戸 欣哉)の玄関ドア・窓の 3D シミュレーション「TOSTEM Digital Simulation」で採用され、スマホや PC で、リアルに近い感覚で商品選定ができる体験の提供に貢献します。



「TOSTEM Digital Simulation」のトップ画面(左)とシミュレーション画面(右)

©LIXIL Corporation

■ 開発の背景

近年、時間や空間の制約を超えた新たなコミュニケーションフィールドとして、インターネット上の仮想空間「メタバース」が注目を集めています。しかし、商品を正確に再現した臨場感の高いバーチャル空間を体験するためには、スペックの高い PC が必要という課題がありました。

これを受けて凸版印刷は、Web サイト上で 3D バーチャル体験ができる「MiraVerse® Core」を提供します。これにより、利用企業は Web サイトを通じて、幅広い利用者に自由な視点・自由な組み合わせのバーチャル体験を提供することができます。

■ 「MiraVerse® Core」の特徴

•Web サイトでの臨場感高いバーチャル体験

「MiraVerse® Core」は、製品の設計図や 3D 計測・色彩計測などの正確な 3D データを用いて、Web サイト上で臨場感あふれる空間を再現します。凸版印刷の色再現技術、3DCG 技術を Web サイト向けに最適化し、高品質な CG 再現と敏速な動作を両立しています。

•Web サイト表示で様々なデバイスに対応

専用デバイスや専用アプリケーションが不要で、幅広い利用者に体験を提供することが可能です。スマートフォンやタブレットにも対応しており、商品の販売機会を最大化することができます。

•クラウドでの 3D データ管理による効率的な運用

専用の管理サイトで 3D データを一元管理することができます。商品変更時には管理サイト上のデータを更新するだけで、Web サイトを修正する必要がないため、更新コスト削減やリードタイム短縮を図ることができます。



「MiraVerse® Core」での 3D データ管理イメージ

・簡単な Web サイト埋め込み

専用の JavaScript プログラムを利用できるため、簡単に Web サイトに組み込むことが可能です。また、3D データへのアクセスも API(※1)として提供されるため、外部のシステムと連携したサービスの構築も行うことができます。

■ 価格

・サービス導入初期費 60 万円～

・月額サービス利用料 60 万円～

※ 登録するデータ量や月間アクセス数によって価格は変動します。

※ 3D データ制作や Web サイト構築は別途費用がかかります。

■ 今後の目標

凸版印刷は「MiraVerse® Core」を、様々な企業や団体に提供を進め、2025 年度では関連受注を含め 20 億円の売上を目指します。

凸版印刷は今後も、現実とバーチャルのシームレスな連携による新しいコミュニケーションの場の提供を通じ、誰もが参加しやすく安全/安心で持続可能な社会の実現を目指します。

※1 API

アプリケーション・プログラミング・インターフェイス。

アプリケーションやソフトウェアの機能を、第三者が開発したプログラムから使用できるようにしたインターフェースのこと。

* JavaScript は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における商標もしくは登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上